

公表

## 事業所における自己評価結果

| 事業所名     |    | つくば市福祉支援センターとよさと                                                                                                                         |    |     |                                                                              | 公表日                                                    | 2025年3月31日 |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------|
|          |    | チェック項目                                                                                                                                   | はい | いいえ | 工夫している点                                                                      | 課題や改善すべき点                                              |            |
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                             | 4  |     | 十分なスペースを確保している。                                                              | 引き続き、安心安全な環境作りを心がけていきます。                               |            |
|          | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                                                                          | 2  | 2   | 基準以上の職員配置ではあるが、個別の関わりが必要な場面等、片付けなど状況に応じて事務職職員も協力して支援を行っている。                  | 配置基準には問題ないが、その時の状況で個別的な対応が難しい場面もあるため、応援体制などは柔軟に対応していく。 |            |
|          | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                    | 4  |     | わかりやすい動線、視覚提示など子どもにわかりやすい環境設定をしている。                                          | 引き続き、わかりやすく、過ごしやすい環境となるように配慮の必要性に応じた対応をしていく。           |            |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                    | 4  |     | 日頃から衛生面には気をつけ、清潔で心地よく過ごせる環境を整えている。                                           | 引き続き、子どもの活動場所が清潔で危険のないように整えていく。                        |            |
|          | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                               | 4  |     | 場所は限られるが、空いている部屋でクールダウン等を行うことが可能である。                                         | 引き続き、使用できるよう環境を整えていく。                                  |            |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                                                                            | 4  |     | 担当者同士で振り返る機会をもっている。また、課題があれば都度相談できる環境がある。                                    | 各業務について常に改善の余地がある意識し、業務改善へとつなげていく。                     |            |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                     | 4  |     | 前年度の保護者アンケートから改善点を見つけ、対応できるようにしている。また、個別面談等でも保護者からの意向を聞く機会を設けている。            | 保護者アンケートや面談等で意向確認をするとともに、見直しや、改善に向けた話し合いをもっていきたい。      |            |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                   | 4  |     | 毎朝夕に職員での打合せ、振り返りを持ち、意見集約や情報提供ができる場をもっている。また、定期的に職員会議を持ち、情報共有している。            | 意見の出しやすい環境を作り、職員ミーティングでの意見交換を充実させて業務改善につなげていく。         |            |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                         | 2  | 2   | 実施していない。                                                                     | 第三者評価の実施については、今後の検討課題としていく。                            |            |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                        | 4  |     | 外部の研修やオンライン研修などを利用して、研修の時間の確保に努めている。                                         | 療育経験の浅い職員に対しての基礎的な知識や技術を学べる機会の提供を含め、今後も研修の充実を図っていきたい。  |            |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                  | 2  | 2   | アンケート時点では、作成途中であった。                                                          | 令和7年3月にホームページに公表。                                      |            |
|          | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。                                                                       | 4  |     | 個別面談や活動の中で子どもや保護者のニーズを把握し、個別支援計画に反映している。                                     | 今後も、同様に個別面談や活動の中で子どもや保護者のニーズを把握し、個別支援計画に反映していけるようにする。  |            |
|          | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                         | 4  |     | 児童発達支援管理責任者とクラス担任で確認し、クラスに関わる職員にも共有している。振り返り際には、クラスに関わった職員で話し合いの場をもつようにしている。 | 引き続き、同様に行っていく。                                         |            |
|          | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                      | 4  |     | 支援計画はクラスの職員間で共有している。計画に沿った支援となるように、個人記録の際には計画に沿った記載をしている。                    | 引き続き、同様に行っていく。また個々の日のねらいを都度確認していくようにする。                |            |
|          | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                      | 4  |     | フォーマルなアセスメントツールの使用はしていないが、保護者からの聞き取り、行動観察する際は専門職の見立てなども取り入れている。              | 標準化されたアセスメントツールがあれば使用していきたい。                           |            |
|          | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 3  | 1   | 必要な項目は設定している。                                                                | 親子通園であることから、明確な家族支援の項目に該当箇所がないため、必要な項目を設定するようにしたい。     |            |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                   | 4  |     | 職員間で日々の課題内容等を立案している。                                                         | 今後もクラスのお子様の様子等を考慮し、同様にチームで検討していく。                      |            |

|              |    |                                                                                                            |   |   |                                                                            |                                                              |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 供            | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                   | 4 |   | 同じ活動でも小さな変化やステップアップを意識している。                                                | 引き続き、繰り返しの流れの中で安定して過ごせるようにし、小さな変化やステップアップを取り入れていきたい。         |
|              | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。                                                      | 2 | 2 | 小集団の活動であるが、活動の中でも個々のねらいに沿った支援を心がけている。                                      | 小集団活動のため、集団メインとなっているが、必要に応じて、個別活動を取り入れていきたい。                 |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                                            | 4 |   | 毎朝の打合せで流れ、お子さんに対する配慮事項等を確認し、共通認識のもと関われるようにしている。                            | 継続して、職員間の連携を図り支援していきたい。                                      |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                                     | 4 |   | 支援内容やお子さんの情報を共有し、次の支援に生かせるようにしている。                                         | 会議や研修等で困難な日もあるため、全体周知が必要なことのみにするなど簡素化しても日々の振り返りをしていく。        |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                                                     | 4 |   | クラスの療育日誌、個別記録を記入しており、次の支援に生かせるようにしている。ヒヤリハットの報告、記載、今後の検討も行うようにしている。        | 引き続き、徹底していく。                                                 |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                                          | 4 |   | 個別支援計画作成の時期に合わせて定期的に個別面談を行うほか、適宜保護者から話を伺うなどしている。                           | 継続して行っていきながら、適切な見直しができるようにしていく。                              |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                                   | 3 |   | 情報交換を行う際は、担任、児童発達支援管理責任者が対応している。                                           | 会議形式で行われることはないが電話や必要に応じて相談支援事業所と情報共有をしている。                   |
|              | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                                 | 3 |   | 必要に応じて、各種関係機関と、情報共有や情報交換など連携を行っている。                                        | 障害福祉や保育所等との連携は取りやすいが他の機関との連携はとりにくい現状があるが、必要に応じて連携できるようにしていく。 |
|              | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 |   | 連携訪問という形で、併行利用のお子さんの在籍している園への訪問をしている。支援内容や情報共有をしている。また、保護者に対しても訪問報告を行っている。 | 引き続き、園訪問を実施し、よりよい連携ができるようにしていく。                              |
|              | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                                     | 3 |   | 年度末や年度初めに、特別支援学校との情報交換を行っている。                                              | 特別支援学校のみが対象となっている。他は保護者を通しての情報共有となっている。今後の検討課題である。           |
|              | 28 | (28～30は、センターのみ回答)<br>地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。                            |   |   |                                                                            |                                                              |
|              | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。                                                         |   |   |                                                                            |                                                              |
|              | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。                                                                  |   |   |                                                                            |                                                              |
|              | 31 | (31は、事業所のみ回答)<br>地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。                                      | 1 | 3 | 実施していない。                                                                   | 地域の児発センターの研修等への参加を検討していきたい。                                  |
|              | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。                                                                |   | 4 | 実施していない。                                                                   | 徒歩圏内に交流できる施設がないため、センターの療育の中での交流は現実的に難しい。                     |
|              | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                                           | 4 |   | 親子通園であるため、お子さんの様子を一緒に共有しながら支援をしている。                                        | 引き続き、お子様の課題や発達の状況を保護者様と共有し、手立てを一緒に考えていきたい。                   |
|              | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。                               | 4 |   | 市で行っている家族支援プログラムの情報提供や親の会と合同での勉強会を実施している。                                  | 今後も同様に行っていきたい。                                               |
|              | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                                       | 4 |   | 利用契約時に詳しく説明しているほか、内容の変更が生じた際にはおたより等で周知している。                                | 今後も継続して行っていく。                                                |
|              | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。                             | 4 |   | 個別面談や日頃の支援の中で行っている。                                                        | 引き続き、個別面談や対話を通して保護者様のご意向を確信しながら進めていきたい。                      |

|          |    |                                                                                            |   |   |                                                                           |                                                                                                    |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。                                         | 4 |   | 個別面談の中で、説明し、保護者様のサインをもらっている。                                              | 今後も継続して、丁寧に説明をしていく。また、疑問点や見直し等があった際には適切に対応していく。                                                    |
|          | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                         | 4 |   | 支援の中で相談に応じたり、必要に応じて、適宜面談等を行っている。                                          | 今後も保護者様からの話に傾聴し、必要な助言をしていきたい。                                                                      |
|          | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 4 |   | クラス懇談会を実施し、交流をはかれるようにしたり、親の会主催の座談会での場所・機材の提供などを行っている。                     | 今後も保護者同士の交流ができる場の提供をしていきたい。きょうだい児同士の交流の機会は設けていないが、家族支援という形の中で、相談を受けたり、兄弟間の様子を聞くなどケアできるように対応していきたい。 |
|          | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 4 |   | 相談や申し入れがあった場合には、迅速かつ適切に対応するように努めています。苦情受付窓口は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。      | 引き続き、迅速な対応に努めていきます。                                                                                |
|          | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 4 |   | 毎月おたよりにて課題内容やお知らせ等を発信している。                                                | ホームページでは、自己評価の結果、支援プログラムの内容も公表している。                                                                |
|          | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 4 |   | 個人情報があるものに関する取り扱いには十分注意している。                                              | 今後も個人情報の取り扱いには十分留意していく。                                                                            |
|          | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 4 |   | ことばと共にサインを使用したり見てわかりやすい視覚支援を使用するなど伝達方法を工夫している。また、その日の活動内容やねらいをボードに掲載している。 | 引き続き、同様に対応していく。                                                                                    |
|          | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      |   | 4 |                                                                           | 行事は設けていない。                                                                                         |
| 非常時等の対応  | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 3 |   | 策定はしており、職員間では対応方法について確認をしている。                                             | ご家族に対するの詳細説明はしていないため、今後は掲示板にマニュアルの掲載をしていく。                                                         |
|          | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 3 |   | 策定はしており、重要事項説明には記載している。                                                   | 定期的に必要な訓練等は行っていないため、今後の課題としていく。                                                                    |
|          | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 4 |   | インテーク時や年度がかわったときにアンケートへの記入をお願いしている。そこでの把握や日頃の支援の中で聴き取りをするようにしている。         | 引き続き、同様の対応をしていく。緊急時に適切に対応できるように職員間でも周知しておくようにする。                                                   |
|          | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 2 | 2 | 年度初め（利用開始時）に保護者から聴き取りをしたうえで、対応方法を検討している。                                  | 現在は対象児はいないが、課題等でアレルギーの原因等となりうる教材の使用を見合わせるなどの対応も検討していく。                                             |
|          | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 4 |   | 安全計画に沿って対応しています。                                                          | 安全計画を適切に活用するために、毎年見直しを行っています。                                                                      |
|          | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 2 | 1 | 避難訓練を実施し、保護者とともに避難したり、避難場所の確認を行った。                                        | 全クラスでの避難訓練の実施は行えなかったため、職員間では十分に共通理解し、安全に避難等ができるようにしていく。                                            |
|          | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 3 | 1 | 年度途中より、ヒヤリハットの情報共有、日誌への記載、対応方法の検討をミーティング時に行っている。                          | 引き続き、ヒヤリハットの事項に関しては職員間で共有していくようにする。                                                                |
|          | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 4 |   | 研修の機会の確保、虐待防止委員会の設置をし、対応している。                                             | 幼児期は身体接触や誘導が多くなるため、日頃から支援の振り返りを十分にしていこうようにする。                                                      |
|          | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。               | 2 | 1 | 親子通園のため、身体拘束の想定はしていない。やむ負えない場合には保護者に説明をし、了解を得るようにしている。                    | 計画には記載していないため、今後の検討課題としていく。                                                                        |